

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立橋北小学校

校長 東 せい

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 地域とともにある学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域とともに子どもを支える学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①地域の資源や地域人材を活用した体験活動の充実

昨年度に引き続きコロナ禍の中でした。可能な限り地域の学習ボランティアの方を学校に招いての教育活動を進めることができました。

地域と連携して行う防災学習では、地域の方々に講師となっただき、PTAの方はもとより今年度は中学生ボランティアも数十名参加してもらい、地域一体で防災に関する様々な学習や体験の支援をしていただきました。

この学習では、防災に関する知識・技能を学ぶだけでなく、煙避難体験活動等を取り入れていただき防災意識を高める学びとなりました。また、地域や保護者の方々、中学生と子どもたちが活動を通して交流を深めるよい機会にもなりました。

5年生は校区にある田んぼをお借りし、苗植え、稲刈り、脱穀、精米とお米ができるまでの体験活動ができました。毎年、お米作りを通して、子どもたちは、季節を感じたり、自然と触れ合ったりするとともに、地域の方々と交流を深めながら、お米作りに取り組む苦労や喜びを知る機会となっていました。活動後には、子どもたち1人ひとりがタブレットを使って米作りのまとめを行い、クラス全体で交流し合うことができました。

地域の方々の協力を受け、伝統工芸万古焼をはじめ様々な地域素材を活用した体験学習を行いました。中でも、「ばんこの里会館」の方にご協力いただき、3年生で万古焼体験、4年生で絵付け体験、6年生で卒業制作（万古焼体験）を行うことが



できました。1年生では、地域の方々に来ていただき「昔のあそび交流会」を行うことができました。子どもたちは、コマやけん玉、お手玉などの遊び方を教えていただき、楽しく地域の方々と昔の遊びを楽しむことができました。

また、1，2年生の校区探検では、橋北地区にある浜一色郵便局を見学させていただき、年賀状や手紙の出し方等のお話を聞かせていただくこともできました。

②保護者・地域団体の学校運営や教育活動への協力

今年度も昨年度に引き続き、6月のプール清掃では、6年生・5年生の児童と共に、準備から清掃、片付けとPTAの方々はじめ地域の消防団、防災連合協議会等たくさんの方に協力をさせていただきました。

③運営協議会会議運営の工夫

今年度もコミュニティスクール（CS）の組織づくりと活動方針についての検討を進めました。会議の中で頂いた意見は、学校づくりビジョンの達成に向けての実践へ活かすとともに来年度は、学校・CS・ボランティアが一体となって活動を進めその都度振り返りを行い、より充実した活動となるようにしていきます。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度は限られた中でも、地域の方々に学習活動・体験活動の支援や学校の環境整備等へのご協力をいただきました。地域の方々との関わりを大切にした体験活動や地域資源を活用した学習は、地域のことを知り、地域に住む方々の思いや優しさに触れ、自分たちの地域を大切にしようとする心を育むことになりました。

コミュニティスクール運営協議会は、自治会長・民生委員・学習ボランティア・PTA役員等10名の委員さんでの構成としました。

運営協議会の中では、地域の様子や学校に関わっていただいている方の感想・保護者の思いなど、学校教育活動に対してさまざまなご助言やご提案をいただきました。

子どもたちを取り巻く私たち（学校・地域・家庭）がそれぞれの立場で何ができるのかを考え、教育活動にどう活かしていくべきかを話し合う有意義な場となりました。



3 今後に向けて

地域の方々や運営協議会委員さんが参画して、学校の授業やさまざまな活動に支援をいただいたことは、子どもたちの学力向上だけでなく、思いやりや優しさを育むことにもつながりました。今後も、地域学習や体験学習を更に充実していけるよう、実践を振り返り、活用方法や年間計画を引き継ぎながら、地域・保護者との連携の取り組みを進めていきたいと考えています。

運営協議会の開催に関しては、昨年度と同じ回数を設定することができました。その中でも、学校教育活動に対してさまざまなご意見をいただくとともに、授業参観や学校公開等の機会を捉えて、学校の現状を把握していただき、年度末には学校関係者評価をいただきました。いただいたご助言やご提案は、来年度の教育活動に反映し、今後も学校づくりビジョンに沿って、地域とともにある学校づくりを目指し、取り組みを進めていきます。